

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名		子育て支援体制整備事業(保育所等巡回相談事業)		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市次世代育成支援対策行動 計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 22 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なるど			終期	<input type="text" value="未定"/>
(小項目)		児童福祉				
施策	2	児童福祉の推進				
基本事業	2	保育所の機能充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 公私立保育所の児童と保護者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	育児不安を抱える家庭や軽度の発達障がい疑われる乳幼児を、できるだけ早期に発見し、就学年齢までに関係機関の連携により適切かつ継続的な支援を実施する。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	平成25年度未実施の10保育所(公立2・私立8)を巡回し相談を実施する。一時保育を利用している児童を対象とすることについては、平成25年度実施検証の結果、進め方に無理があることから、26年度は保育所入所児のみを対象とし、実施する。 平成25年度・26年度の2年間で20保育所を一巡したため、事業の検証、見直し等をおこない、平成27年度も保育所巡回相談事業を継続する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		適切な支援を受けた人数	50	50	50	50	50	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成25年度未実施である8保育所(公立2・私立6)が巡回相談を実施。今年度は、保護者への案内文やリーフレット内容の見直しを行い、配布を行う。また、支援が必要と思われる子どもの保護者に対しては、個別に声をかける等、保護者相談も積極的に実施した。 年度末には全保育所の担当者と専門家等関係機関が、当日の時間配分や観察の仕方等、巡回相談についての進め方・方法について検証し、見直し等の検討を行った。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 実施保育所・園の数	10	8	10	9	10	園
	2 観察をうけた児童数	389	490	480	480	480	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	適切な支援を受けた人数	45	64	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		128.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	0	737	737
		全体予算額	550	0	0	0	917	1,467
		決算額	0	0	0	0	666	666
		繰越額	550	0	0	0	180	730
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
0.1		0.1	890	1,556				

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：子育て支援体制整備事業(保育所等巡回相談事業)】

(千円)

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	686	666	730	730	730
	うち一般財源	686	666	730	730	730
	人件費	853	890	890	890	890
	総事業費	1,539	1,556	1,620	1,620	1,620

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		専門家から具体的ななかかわり方についてアドバイスを受けることにより、保護者自身が子育てに積極的になる等の変化が見られ、現場の保育士にとっても、保育の質の向上に繋げることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった		保護者相談の件数が増えた事により、支援が必要と思われる乳幼児の発達相談や療育サービスに繋げることができた。
②成果に対する評価	指標名	適切な支援を受けた人数		保育所の現場で気になる子どもの状況を観察し、保育所においての具体的ななかかわり方についてエピソードを基に医師・臨床心理士の専門家から助言及び指導を受けることにより、保育士の資質向上や積極的に保護者への相談を実施することで、保護者への支援に繋がった。
	目標	50	人	
	実績	64	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成27年1月に実施した巡回相談の進め方・方法等についての検討結果を踏まえ、平成27年度は公私立保育所10ヶ所で巡回相談を実施する。巡回相談の実施回数の増加を希望する保育所もあるが、医師、臨床心理士等専門家の人材確保や事業費の増額が必要となることが課題である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	医師・臨床心理士・保健師・保育士等が連携し、育児不安を抱える保護者や発達障がい疑われる乳幼児に対し、継続した支援の充実(発達障害者支援法)が図れるよう、さらなる事業内容の見直し・検討を行うとともに、関係機関との連携強化に努める。			
	H28年度	継続			